

林業ぐんま



林政情報……………1

令和元年東日本台風の被害と復旧に
ついて……………1

森林経営管理制度について
普及コーナー……………4

ぐんまの木で家づくり支援事業(県補助)
の御案内……………4

各地の便り……………5

(西部) さのこ栽培施設の更新
(吾妻) 森林獣害対策に向けて……………5

(藤岡) 日野県有林 広葉樹整理伐で
副収入……………5

(利根沼田) 直売所の巡回指導を実施
(桐生) クビアカツヤカミキリから 樹木を守ろう……………5

(富岡) 大桁県有林で搬出間伐を実施
(渋川) 「県有林で働く人々」 (赤城県有林編その1)
地域を担う人……………9

角田 誠 さん 夏八木 陸人さん
藤井 悠太さん 五十嵐 晃平さん
森の談話室……………11

ロングリーチハーベスタ稼働する
林業試験場から……………12

大型木造建築に対応した県産材部材の
研究について……………12

トピックス……………13

第六十一回通常総会について……………13

夏

2020

「林業ぐんま」はホームページでもご覧になれます
<https://gun-fukyu.jimdofree.com/>

群馬県林業改良普及協会

総合建設業

株式会社 金子建設

代表取締役 金子 和利

本社 群馬県みどり市東町神戸 577-2 Tel 0277-97-2209

森林土木事業を通じて、山村振興・林業振興と山地災害防止に貢献

群馬県森林土木建設協会

会長 山藤 浩一

〒371-0854 群馬県前橋市大渡町1-10-7(群馬県公社総合ビル6階)

☎(027)280-6256 FAX(027)255-6265

E-mail:gun-sidokeki@tiara.ocn.ne.jp

ふるさとの木で家を建てよう

県産材を使って

住宅を建築すると最大60万円

内装を施工すると最大15万円

県が補助します



ぐんま優良木材品質認証センター

〒379-2131 前橋市西善町524-1

電話:027-266-8220

<http://www.gunma-wood.com/>

総合建設業

萩原建設株式会社

代表取締役 萩原 信夫

甘楽郡下仁田町大字下小坂200

☎(0274)82-3002(代) FAX82-6037

発行責任者 群馬県林業改良普及協会
印刷者 狩野 浩志
刷杉浦印刷株式会社

林政情報

令和元年東日本台風の被害と復旧

令和元年10月6日にマリアナ諸島の東海上で発生した台風第19号は、平年よりも高い海水温の領域を通過しながら急速に発達し、日本各地に甚大な被害をもたらした結果、気象庁の名称を定める基準により、昭和52年以来42年ぶりとなる命名台風「令和元年東日本台風」となりました。

群馬県内では11日午後から雨が降り始め、東や南東からの暖かく湿った風が秩父山地にぶつかって上昇気流となり、県西部を中心に非常に激しい雨の降る範囲が広がりました。国管理の下仁田観測所では、降り始めか



嬭恋村 JR吾妻線の被災状況

林道被害と復旧

令和元年10月11日から13日にかけて本県に被害をもたらした台風19号により、西毛や吾妻地域を中心に、路肩決壊、路体欠損、法面崩壊など、19市町村・103路線・235箇所で林道施設が被災し、甚大な被害を受けました。

被害を受けた林道のうち、14市町村・44路線・91箇所を国の災害復旧事業を活用し復旧することとしました。国の災害査定を受ける



被災状況 林道矢弓沢線（上野村）

らの32時間雨量が60mmを超えたほか、気象庁の観測所でも、県内の雨量観測所17地点の内10地点で日降水量（10月12日）が統計開始以来の極値を更新したとのことです。

この台風による県内の林業関係被害は、林道被害が235か所18億円、林地被害（治山関係）81か所35億円、林産施設（きのこ関係）4か所1億円となり、平成19年台風第9号以来の大きな被害となりました。

治山事業による復旧対応

台風通過後、速やかに被害状況の調査を実施するとともに、重要なインフラ施設等に影響のあった箇所を最優先として、復旧計画の策定に着手しました。嬭恋村では、JR吾妻線が2か所の山腹崩壊により不通となっており、南牧村では主要県道が被災したことから、3か所について災害関連緊急治山事業を計画申請し、12月6日に国の事業費決定、年度内の工事発注契約へと進めたところです。また、令和元年度補正にも台風被害1か所を計上したほか、県単独治山事業においてもゼロ県債の活用等により5か所が年度内に工事契約となりました。

今後、概ね3か年での復旧を目指し、令和2年度においても、補助公共治山事業をはじめとして、全力で取り組む予定です。

です。

山地災害に備える

令和元年12月27日、気候変動の影響等により、日本の気象災害のレベルが新たな段階に入ったことは間違いなく、山本知事が「群馬・気象災害非常事態宣言」を発表しました。この中で、災害に強く、持続可能な群馬県を構築するため、ハード・ソフト両面の防災・減災対策を強力かつ集中的に推進すると同時に、「自らの命は自らが守る」という県民の防災意識も醸成するとしております。

今年も国、県では山地災害防止キャンペーンを実施しております。ポスターやパンフレットの配布等を行っておりますので、防災の普及啓発にご活用願います。

（森林保全課治山係）



被災状況 林道上野大滝線（上野村）

林道は森林整備を進める上で欠かすことのできない施設の一つであり、地域住民の方々の生活道としても利用されています。重要なインフラである林道を早期に復旧し、安心して利用できるよう市町村と連携し全力で取り組んでまいります。

（林政課森林管理道係）



法面復旧工事中 林道奥山六車線（南牧村）

にあたり、特に被害箇所が多かった市町村については、職員の人手不足もあり、市町村での対応は困難であったことから、県の関係機関職員等による支援を行い、測量・写真撮影・資料作成準備を進めるとともに、市町村管理の被災路線についてもサポートする等、県市町村が一丸となって対応しました。

県では令和元年度中に、91箇所、約11億円の国庫補助災害復旧を計画し、各事業主体が復旧に向け順次着手しています。

また、国庫補助対象とならない小規模災害については、県単独事業等で実施していく予定です。

森林経営管理制度について

○概要

平成三十一年四月一日に森林経営管理法が施行され、森林経営管理制度がスタートしました。この制度では、適切な経営管理が行われていない森林を市町村に集約し、市町村による直接管理や「意欲と能力のある林業経営者」への委託等により、林業の成長産業化と森林の適切な管理の両立を図ることを目的としています。

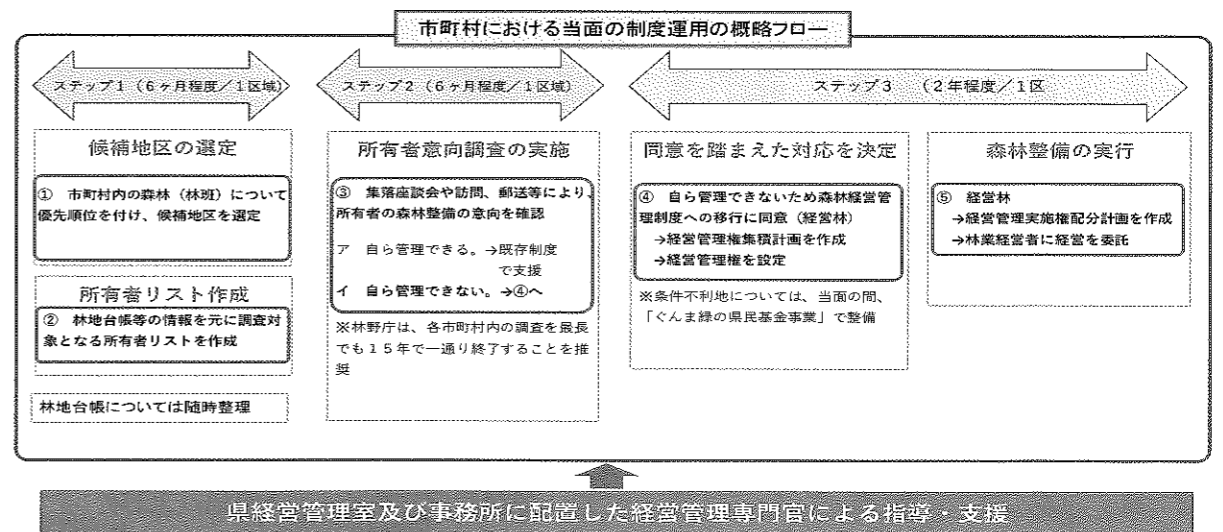
森林経営管理制度は、

- ① 森林所有者には、所有森林を適切に経営管理する責務が有ることを明確化した上で、
- ② 森林所有者自らが経営管理できない森林については、市町村が森林の経営管理を引き受け、
- ③ 林業経営に適した森林については、意欲と能力のある林業経営者に経営管理を委託し、
- ④ 林業経営に適さない森林については、市町村が管理を行います。

○手順

市町村において、森林経営管理制度を運用するにあたり、ステップ1からステップ3ま

群馬県における森林経営管理制度の運用について



ぐんまの木で家づくり支援事業(県補助)の御案内

群馬県では「ふるさと山の木を使う」を合い言葉に、群馬県産の木材をもっと利用していただくため、様々な施策を実施しています。群馬県産の木材を使っていたと林業や木材産業が元気になり、群馬県内の森林が整備され、ひいては地球温暖化を防止することにもつながります。

「ぐんまの木で家づくり支援事業」は、こ

れらの施策の一つで、群馬県産の木材「ぐんま優良木材」を使って住宅を新築したり、内装をリフォームする場合には、県から費用の一部を補助する制度です。

▽構造材補助

・対象 県内に、自己が居住するために在来軸組工法またはツーバイフォー工法で建築された新築木造住宅のうち、構造材に在来軸組工法は九十%以上かつ七・五立方以上上、ツーバイフォー工法は三十五%以上かつ七・五立方以上について「ぐんま優良木材」を使用した住宅。

また、年度末までに上棟し、ぐんま優良木材品質認証センターが行う「ぐんま優良木材使用住宅」の証明検査に合格できること。
・補助金額 構造材におけるぐんま優良木材

使用材積及びぐんま優良木材使用割合に応じて、十万円～六十万円。
ツーバイフォー工法は十五万円(定額)
・募集戸数 三百十戸(先着順)

▽内装材補助

・対象 内装材及び建具にぐんま優良木材を十平方メートル以上使用した住宅の新築または新築住宅の購入あるいは現在住んでいる住宅の改装。

また、年度末までに施工を完了し、ぐんま優良木材品質認証センターが行う「ぐんま優良木材使用住宅」の証明検査に合格できること。

内装材補助については、木造以外の住宅やマンション等の集合住宅でも利用できます。

・補助金額 内装材一平方メートルあたり三千元、建具一平方メートルあたり三千元または一万一千円。上限十五万円。

・募集戸数 五十戸(先着順)

※構造材補助と内装材補助は、併用できません。ご了承ください。

※本事業は令和二年度で終了予定です。

◆「ぐんま優良木材」とは、合法的な手続きを経て伐採された群馬県内産の素材丸太等を原材料として生産される製材品であつ

での手続きが必要になります。手順の詳細については、上段の図をご参照ください。
なお、一地区において、森林経営管理制度を一通り運用するには、およそ三年はかかると考えており、まずは、各市町村の一地区において一通り実施していきたいと考えています。運用する中で課題を抽出し、改善策を検討しながら、順次、制度の本格運用を進めて、森林整備の推進を図っていきたく考えています。

○取組状況及び支援

五月末時点の取組状況ですが、意向調査に取り組んでいる市町村は、十三市町村となっています。まだ意向調査に取り組んでいない市町村についても順次、取り組んでいく予定です。

県では、これまでも実務者会議や個別に市町村を訪問し市町村を支援してきましたが、森林所有者情報やGISシステム等の整備状況、職員体制など、市町村毎に状況が様々であることが分かってきました。

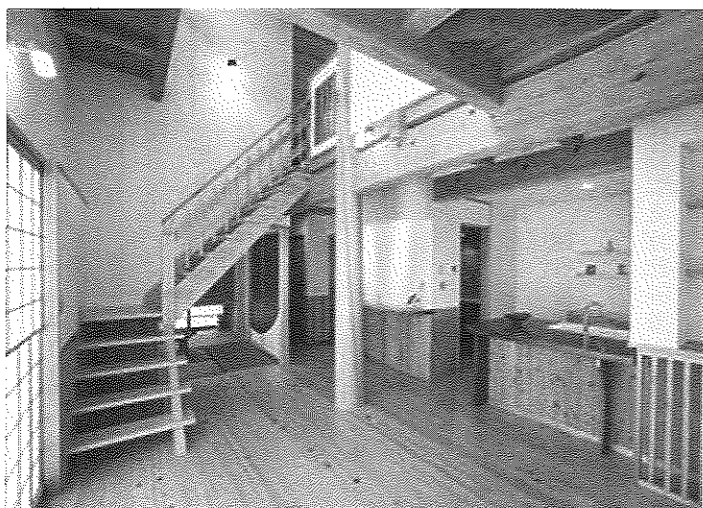
県としては、林政課経営管理室と事務所の経営管理専門官を中心に、市町村の意向を聞きながら、個々の課題の解決に共に取り組むなど、それぞれの市町村の実情に応じた支援を行っていきたく考えています。

(林政課経営管理係)

て、ぐんま優良木材品質認証センターが定める基準に適合する製材品です。

▽お問い合わせ先

ぐんま優良木材品質認証センター
電話027(266)8220
群馬県林業振興課
電話027(226)3241

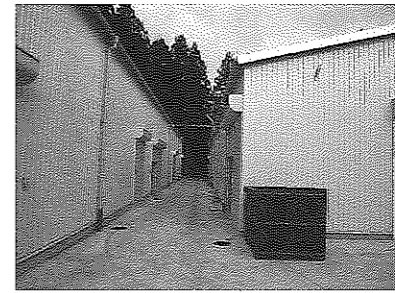


【一般住宅への県産木材利用】

各地の便り

きのこ栽培施設の更新

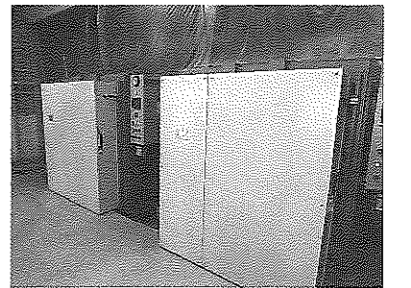
高崎市内のなめこ生産者が施設を新しくしたので紹介します。この生産者は昭和四〇年代後半から生産を始めた二代目で、現在は年間九〇万本仕込み、一〇〇トン規模の生産量を誇る地域の中核となる生産者です。それだけに以前の施設は古く、培養舎は平成元年頃に建てられたもので、その後、平成五年に発生舎を新設し、現在に至っていました。



施設外観

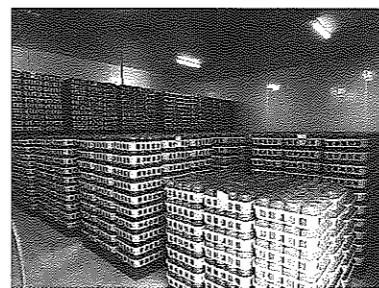
更新したのは仕込み、接種のための施設及び培養舎です。発生舎の規模が決まっているので、新しい施設は旧施設とほぼ同等の規模とレイアウトです。仕込みに使う培地のミキサーや詰め機などの機器類及び栽培ビンは以前のままで、一五〇平方メートルほどの作業室に高圧滅菌器が新たに二基設置されています。滅菌器の内容積は一〇・九立方メートルで、一日に二機で八、五〇〇ビンの仕込みが可能です。

滅菌後は、滅菌器から直接放冷室に培地を



高圧滅菌器

搬入でき、一晩冷ました後、接種します。コンテナリフト付きの自動接種機により、接種作業は一人でできるようにしたとのことです。培養室は室温一六℃の初期培養用及び二〇℃の後期培養用の二室で、それぞれ一八〇平方メートルほどの大きさです。新しい施設は四月四日から仕込みを開始しましたが、施設の試運転と価格の下がる夏に向かうことなどから今のところ週に二、三回の仕込みで、培養室はまだ満室というわけにはいかないようです。



培養室

六月下旬には収穫が始まることですが、取引先からはいつから出荷できるのかという問い合わせが次々にあるとのこと、秋に向けて本格稼働が待たれます。

(西部環境森林事務所通信員)

森林獣害対策に向けて

吾妻環境森林事務所管内では、皆伐再造林施設が増えてきました。

この新たに、造林された箇所において、問題となってくるのが、野生獣類による被害です。今年、東吾妻町にある共有林で造林を行いました。苗木が引き抜かれてしまったという相談がありました。

そこで、その造林地に監視カメラを3台設置し、加害獣の調査を実施しました。監視カメラを設置して、数日後に撮影された状況を確認しましたが、苗木を引き抜いている獣類は、確認することが出来ませんでした。しかし、カメラの前を横断する、イノシシの映像を確認することが出来ました。

今後も、造林地の増加により、そこに野生獣類が集まり、植栽木が被害を受けることが考えられます。

この植栽木を被害から守るためには、防除対策と捕獲対策が重要といわれています。防除対策は、植栽と併せて忌避剤の散布を実施しています。

捕獲対策については、現在、シカの捕獲研修会の開催を検討しています。これについては、地元の猟友会の方や、昨年度、吾妻森林組合の職員で4名の方が狩猟免許「わな

日野県有林 広葉樹整理伐で副収入

日野県有林では現在、スギ・ヒノキの搬出間伐を進めています。経営の多角化を目指し、広葉樹の優良材生産を行うため、令和元年度県有林保育事業で整理伐を行い、発生した材の売り払いを行いました。紹介します。今回の整理伐は約一ヘクタールで、主に曲がりのあるナラ類を伐採しました。

丸太の販売は、伐採を請け負った業者に、山土場の管理も含めて、期限までに売れた分を精算してもらう委託販売としました。

現場はスーパー林道沿線で、木材運搬車両が容易に山土場に横付けできたこと、隣接地で搬出間伐を実施している事業体を請負者としたためスイングヤーダ等重機の回送費用がかからなかったことなど複数の好条件に恵まれ、伐採とスーパー林道沿いまでの搬出の経費は約三十七万円とかなり抑えることができました。また、今回の売り払いは現地山土場での引渡を条件としたため、運搬費の支出はありませんでした。

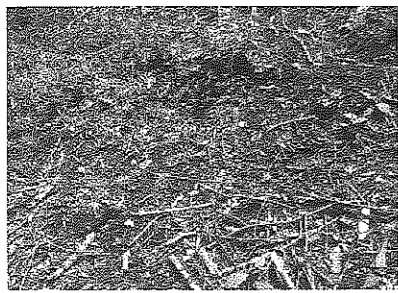
搬出した広葉樹丸太は合計三十八トンで、きのこのオガ粉向けの素材として買い手がつき、生産したすべての材を買い取ってもらうことができました。

売り上げは約十七万円でしたので、経費の

すべてを材の売り上げだけでまかなうことはできませんでしたが、売り払った材は保育事業による副産物ですので、今回の副収入は赤字幅の縮減につながったものと考えています。また、県有林整備では造林補助事業を活用していませんが、今回の取組で仮に活用できたとすると、売り上げと補助金額の合計で経費とほぼ同程度であったことも分かりました。広葉樹材だけで収益を上げるのは難しいですが、針葉樹の間伐を行う際に同一施工地内に条件の良い広葉樹林があれば、同時に整備をすることで資源の有効活用につながります。さらに造林補助事業を活用できる私有林や市町村有林であれば、保育作業でも副収入も期待できるなど、広葉樹整備にはまだまだ検討の余地が十分にあるのではないのでしょうか。



整理伐後の林内



引き抜かれた苗木の状況



監視カメラ設置状況

(吾妻環境森林事務所通信員)

(藤岡森林事務所通信員)

各地の便り

直売所の巡回指導を実施

令和二年五月十三日に林業試験場と合同で沼田市、川場村、みなかみ町の農産物直売所の巡回指導を行いました。スーパーマーケットや道の駅に併設されている大規模施設から小さな簡易施設で販売しているところなどを含めて実施しました。

特用林産物については東日本大震災以来厳しい状況が続いていますが、今年はコロナウイルス感染拡大防止の観点から外出が自粛要請されており、五月晴れの天候に恵まれた中でも、山間部ではすれ違う車も少なく、観光施設や道の駅も閉鎖され、賑わっていた頃と比較するとさみしい状況でした。

一方、沼田市や周辺部の大型直売所やスーパーマーケットなどでは多くの消費者で賑わっていました。春野菜や加工品などが豊富に並べられており、きのこや山菜類も販売されていました。

きのこでは、シイタケ、マイタケ、ヒラタケなど、山菜類ではタラノメ、ワラビ、ウド、フキ、ウルイ、コゴミ、ギョウジャニンニク、タケノコなどです。きのこ類は多くが菌床栽培で、山菜類もタケノコを除き、栽培物がほとんどでしたが、表示方法、放射能検査の有無など確認し各店舗に対して適切な販売方法を



販売されている、山菜やきのこ類

を要請しました。

途中シイタケ生産者の声を聴く機会がありました。県南部の大都市近郊と違い、利根沼田地区では外部からの観光客に依存していた分、売上げも大幅に減っており厳しい状況であるとのことでした。

六月に入ると多くの道の駅なども再開したと聞きます。新型コロナウィルスの終息を願いつつ、今後も消費者と生産者のより一層の安心と安全のため、モニタリング調査とともに管内の巡回指導を継続していく予定です。

(利根沼田環境森林事務所通信員)

大桁県有林で搬出間伐を実施

大桁県有林は富岡市の西部に位置し、大桁山北東部の標高四〇〇〜八三六メートルに広がる森林で、明治三十九年十二月に国有林の払い下げを受け、スタートした県有林です。

現在の面積は約四六〇ヘクタールで、全体を十七の林班に分けて管理しています。林地は全般的に肥沃で、スギ・ヒノキの生育に適し、優良材が生産されています。

主な樹種の構成は、スギが約二二八ヘクタール、ヒノキが約五二ヘクタール、広葉樹が約九一ヘクタールとなっており、スギ、ヒノキを中心とした人工林は成熟しており、本格的な利用期を迎えています。

大桁県有林では、令和二年三月から四月にかけて、林齢四八年生〜六八年生のスギ・ヒノキ一八九ヘクタールの搬出間伐を実施しました。手検知による集計の出材積は、A・B材のスギが二二三m³、ヒノキが十三m³、スギ・ヒノキのC材が十五m³でした。A・B材の割合を算出してみると、約九割とかなり高くなりました。大桁県有林では、今後も計画的に間伐等の施業を実施し、出材していく予定です。

(富岡森林事務所通信員)



被害木の断面

た。また、ぐんまみどりの県民基金を活用した市町村に対する対策経費支援などを開始しました。

令和2年度には新たに次の3つの事業を実施します。

「予防対策事業」被害発生地域に隣接する未発生地域(侵入防止エリア)で幼虫を防除する薬剤注入を実施し、被害区域の拡大を食い止めます。

「防除対策技能向上事業」県民向け講習会を開催し、防除知識・技術の向上、県民の自主防除の取り組みを支援し、受講者をクビアカリポーターに任命、各地における監視体制を強化します。

「県有施設防除対策事業」県有施設から周囲への被害拡大を防止するための資材貸出を行います。

(桐生森林事務所通信員)

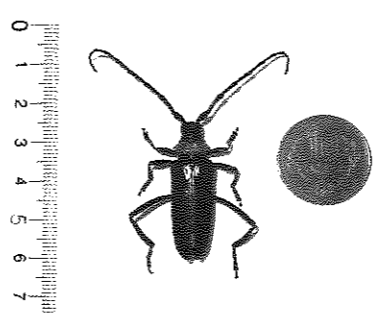
クビアカツヤカミキリから樹木を守る

「クビアカツヤカミキリ」は中国等が原産の特定外来生物です。①サクラやウメに寄生し、木を弱らせ枯死させる②繁殖力が高い③幼虫が木の内部で育つため被害に気づきにくいなどの特徴があり、観光や農業への被害、倒木による人身・建築物への二次被害などが懸念されています。

県内では平成二十七年に館林市で初確認され、太田市、邑楽郡5町に分布を拡大し、被害本数は令和元年度に三千五百六十一本と前年の2.36倍に急増しました。

防除策には①被害木の伐倒②成虫の捕殺③薬剤防除がありますが、いずれの方法も完全ではなく、相当の労力と経費が必要です。

県では、平成三十年に邑楽館林地域6市町を構成員とする「対策協議会」を設置し、



クビアカツヤカミキリ(♀)

国交付金を活用した被害木伐倒事業を実施、令和元年度には施設管理者向け講習会を開催し、防除技術の普及を行いました



検知作業中



はい積みされた丸太

各地の便り

「県有林で働く人々(赤城県有林編その1)
赤城県有林と阪田家と箕輪集落の話」

県有林では日々巡視員が活動しています。主な業務は境界の管理ですが、除伐、倒木処理、測量に加えて、森林ボランティア指導まで大活躍してくれる頼もしい存在です。渋川森林事務所では、赤城、榛名両県有林を営営し、巡視員を1人ずつ配置しています。今回、赤城県有林(渋川、東部両経営区)を担当する阪田末男巡視員から赤城県有林にまつわるお話をうかがったので紹介します。

阪田巡視員は赤城山南麓の前橋市富士見町箕輪集落のご出身で、県有林とは深い縁のある方です。と言うのも、阪田巡視員のご親族は、伯父の加助さん、父の太平さん、長兄の重男さん、そして末弟の末男さんと、二世代4人で赤城県有林の巡視員を引き継いできました。さらに四兄の久男さんも数年前まで榛名県有林の巡視に従事されており、一家を挙げて県有林に尽力いただいていたのです。

阪田巡視員が、太平さんの巡視と一緒に出かけていた頃の様子を語ってくれました。昭和三十年代頃は、太平さんが現場監督を担われ、地元箕輪集落の方々を雇用し、植付け、下刈り等造林作業の指揮を執っていました。その頃の赤城県有林では、丸太も生産し、林内からは修羅で搬出していました。このほ

か原木乾しいたけも生産し、時期には阪田家の庭先にむしろ30枚程を広げて天日干ししていました。県の担当者が測量や植付けの検査で赤城県有林を訪れた時は、阪田家に宿泊し、母のふでさんが山の幸をふんだんに使った夕飯を拵えてもてなしていました。夕飯の準備が整うまでは、担当者が遊び相手になってくれたと懐かしそうに語ってくれました。またその頃の赤城県有林は、地元箕輪集落の人々にとつてかせない存在でした。焚き付け用の「ぼや」を拾い、栗の大木から舞茸を採り、炭焼き用の雑木の伐採もしていました。阪田家母屋の隣には20畳程の天井の高い小屋があり、沢山の炭が積み上がっていました。大切な商品だったので、自家用に使うことはできなかったそうです。



阪田巡視員

(渋川森林事務所通信員)

地域を担う人

赤城造林株式会社

角田 誠さん

一 趣味
車 バイク
二 今後の抱負
常に昨日を超え、限界の先に何が見えるか、ザウルス乗りの真髄を目指す。



地域を担う人

多野東部森林組合

夏八木 陸人さん

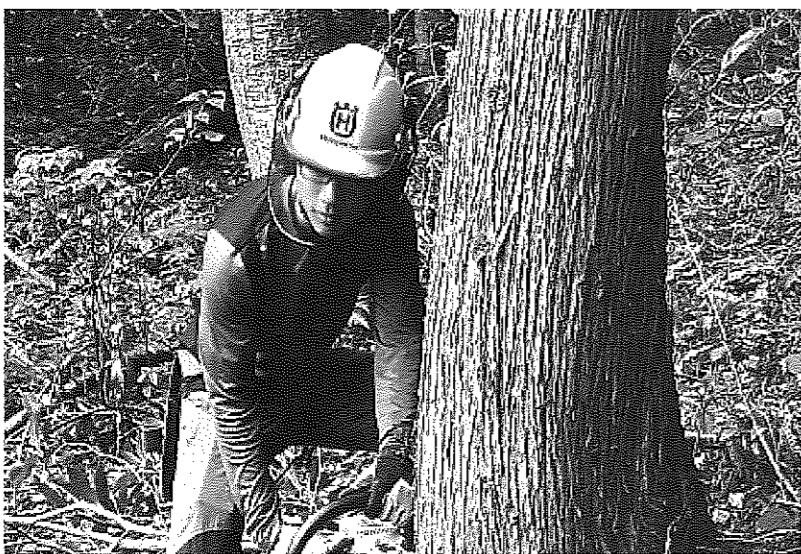
一 趣味
映画鑑賞
二 今後の抱負
伐倒技術や知識を習得し安全第一で、これからも頑張っていきたい。



有限会社藤井木材

藤井 悠太さん

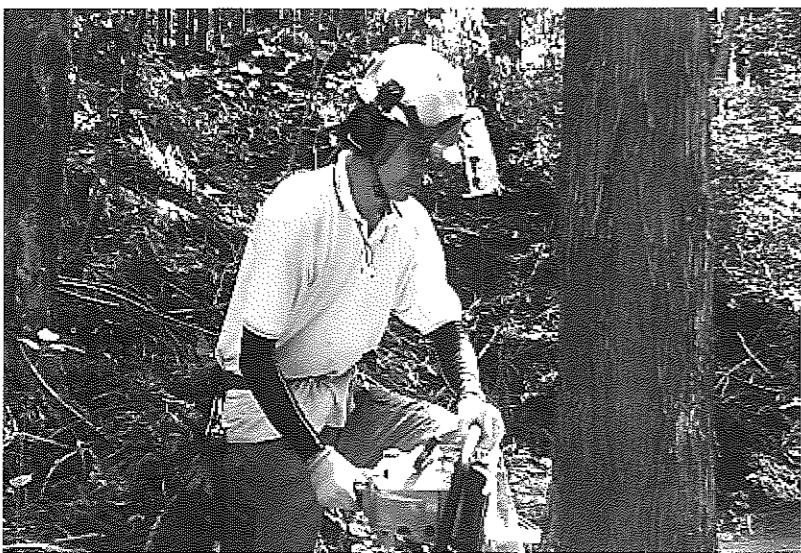
一 趣味
筋トレ ・ カラオケ
二 今後の抱負
講習や実践で学んだ三年間を、今後の仕事の糧にして、頑張っていきたい。



有限会社藤井木材

五十嵐 晃平さん

一 趣味
山歩
二 今後の抱負
10000haの山を10000年計画で自分の思うままに管理すること。



大型木造建築に対応した県産材部材の研究について

昨今の人口減少と少子高齢化により、新規住宅着工数は今後益々減少することが予測されます。今後の県産材の新たな用途の一つとして、公共施設の他、教育施設、また商業施設等の大規模建築の木造化を推進していくことが必要です。しかし従来の大規模建築は鉄骨造がほとんどを占めており、木造の場合でも集成材を使用したものには限られています。

しかし、県内には構造用集成材を生産する工場が無いので、集成材の使用を前提とした木造建築では県内の林業、木材業等の仕事創出には大きく寄与できないのが現状です。

そこで、小規模製材工場等でも生産可能な製材品を使用した木製部材を開発し、県産材による大規模木造建築推進と新たな需要、及び県内木材業の雇用創出を図るため、「大型木造建築に対応した県産材部材の研究」を行っています。

「大型木造建築に対応した県産材部材の研究」の実施にあたっては、(一)、公共施設、商業施設を始めとする非住宅分野の新たな建築部材の開発、(二)、(一)で開発した部材の利用指針・基準の策定、(三)、県産木材の利用に関する研修会等の実施、(四)、その他非住宅分野への木材利用促進、を目的として「群馬県中規模木造建築研究会」を設置し(以下、研究会という。図1)、令和元年度には

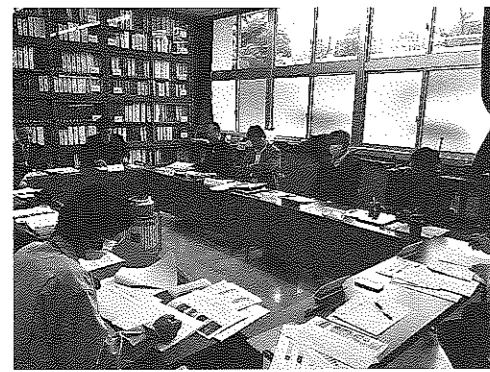


図1 中規模木造建築研究会

研究会は県内の学識経験者、木造建築の計画設計を主とする建築設計者、非住宅木造に関する計画コーディネーターや技術支援を行っている木材業者、また県産木材振興行政、建築行政担当者等で構成されています。

研究会で検討を行った結果、公共施設、商業施設を始めとする非住宅分野の新たな建築用部材の開発として、スギツーバイフォー材を使用したNLT(Nail Laminated Timber・釘接合集成板)の開発にかかる試験研究を行うこととし(図2)、試作した試験体の強度性能試験を実施しています。

さらに非住宅木造で求められる長尺スパンに対応し、かつ公共建築や商業建築で求められる意匠性の高い部材に製材品で対応するため、搬出条件を含めた長尺スパンかつ大断面

に対応できる立木情報データベースと長尺大断面材の供給の可能性と販売価格等の調査を進め、強度等の製材品の

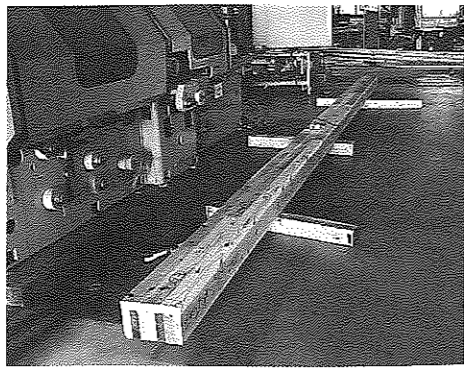
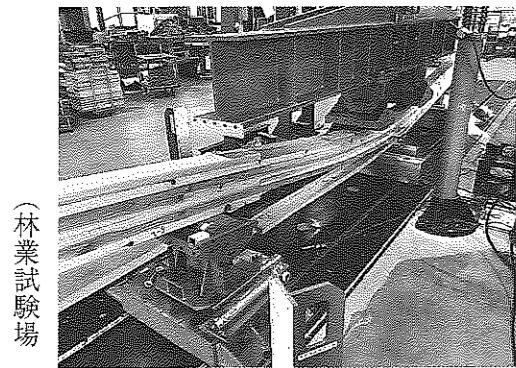


図2 試作したNLTと曲げ強度試験

(林業試験場 木材係)

森の談話室

ロングリーチハーベスタ 稼働する

鳥川流域森林組合(高崎市倉渕町三ノ倉)における高性能林業機械等の保有は平成二三年のフォワーダの導入に始まり、以降、平成二六年プロセッサ、平成二八年フェラバンチャイザウルスロボ、平成三〇年F801型フォワーダ、令和元年度ロングリーチハーベスタと積極的な投資と機械化を図り、作業道開設と高性能林業機械を活用した効率的な作業システムの導入が進行しました。高性能林業機械の保有に合わせ、搬出間伐を中心とした素材生産量は組合直営分とし、平成二三年次の三、七六三m³に対し令和元年度では七、七五六m³とほぼ倍増しております。素材生産量の増加とともに組合の経営も安定しており、毎年黒字経営を続けています。

導入したロングリーチハーベスタの概要についてご紹介します。ベースマシンはCAT製(45m³)、ヘッド部はKETO150、最大伐倒径55cm、最大枝払径45cm、10m伸縮可能なテレスコピックアームを搭載しています。特徴は、テレスコピックアームにより、従来のハーベスタに比べて伐倒可能な範囲が広がったことです。また、IOTにより、稼働

場所・稼働時間・生産量などを組合の事務所にて把握できます。

利用間伐を実施するための作業システムについてご説明します。従来型作業システムは、チェーンソー伐倒↓プロセッサ造材・集積↓フォワーダ運材となります。これに対し、新システムは、ハーベスター伐倒・造材(一部チェーンソー伐倒)↓F801型フォワーダ運材となります。

メリットは、従来型に必要な人員は、伐採と造材をそれぞれ一名づつで行うのに対し、新システムでは一名で実施できることです。また、高密度で作業道を入れることにより、チェーンソー伐倒の作業を大幅に軽減され、かかり木リスクが減るなど労働災害のリスク



テレスコピックアームを伸ばした伐倒作業



F801フォワーダによる積込作業 運転者は逆を向く

軽減につながります。更に、F801型フォワーダによる運材は、積込から輸送への乗降が必要なく、一回当たりの運材量も従来型のフォワーダに対し、約一・五倍程度も多く運搬できます。

両機械とも従来型に比べ、車幅や規格が大きく取得価格も高いなどのデメリットもありますが、組合では、森林経営計画の計画的な作成や組合員への利益還元、作業班を森林整備課に再編し他課と同等にするなど、現場の働く意欲と生産性の向上に努めております。今後とも地域林業の担い手としての活躍を期待しております。

(西部環境森林事務所通信員)

トピックス

林業改良普及協会 第六十一回通常総会

第六十一回通常総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を受け、書面決議での開催が決定され、各会員・地区代議員等へ議案書の送付をもって開催しました。

書面による審議の結果、平成三十一年度業務報告と決算、令和二年度事業計画並びに収支予算のすべてについて原案どおり承認をいただきました。

令和二年度 収支予算 (単位:円)

| 収入 | | 支出 | |
|-------------|------------------|---------------|------------------|
| 科目 | 予算額 | 科目 | 予算額 |
| 会費 | 1,936,000 | 会議費 | 140,000 |
| 団体法人 | 1,020,000 | 事務費 | 1,650,000 |
| 個人 | 916,000 | 事業費 | 2,070,000 |
| 事業収入 | 600,000 | 林業情報活動 | 800,000 |
| 図書斡旋収入 | 100,000 | 林業経営等新規参入支援事業 | 80,000 |
| 販売収入 | 30,000 | 優良林業推奨行事 | 80,000 |
| 道路保安標識販売収入 | 110,000 | 林業新知識購入 | 840,000 |
| 受託収入 | 40,000 | 図書斡旋 | 10,000 |
| 広告収入 | 320,000 | 販売事業 | 10,000 |
| 補助金 | 1,000,000 | 道路保安標識事業 | 10,000 |
| 全林協還付金 | 50,000 | 教育情報事業 | 100,000 |
| 雑収入 | 802 | 地区協会運営助成 | 120,000 |
| 繰越金 | 1,529,198 | 県林研助成 | 10,000 |
| | | 普及事業 | 10,000 |
| | | 負担金 | 100,000 |
| | | 予備費 | 1,126,000 |
| | | 雑費 | 30,000 |
| 計 | 5,116,000 | 計 | 5,116,000 |

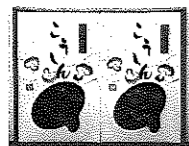
月間 林業新知識

山林所有者皆さんと、共に歩む月刊誌です。
仕事と暮らしの現地情報が読める実用誌です。

月間 現代林業

激動の時代に対応したテーマを、読者の立場で分かりやすく。
「そこが知りたかった」が読める月刊誌です。

～ふるさとの味 本物をお届けいたします～



こうしん 54g × 2箱
1,800円



こうしん 140g
1,500円



スライス 50g
500円



つゆの素
(4倍濃縮500ml)
450円

●椎茸、図書購読のお問い合わせ、お申し込みは群馬県林業改良普及協会へ●

群馬県林業改良普及協会

TEL 027-280-6280 FAX 027-255-6265
<https://gun-fukyu.jimdofree.com/>

新型コロナウイルス感染症で影響を受ける林業・木材産業関連事業者の皆様へ

現在、国において、新型コロナウイルス感染症による企業への影響を緩和し、企業を支援するための施策が講じられています。林野庁ホームページでは、金融支援措置、雇用調整助成金の特例措置や相談窓口などの情報が紹介されております。詳しくは、林野庁ホームページをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/seisankakou/corona2.html>

～ 人づくりから森林づくりまで

群馬の山を守り、確かな技術で地域に貢献する ～

一般財団法人 群馬県森林・緑整備基金

〒370-3503 群馬県北群馬郡榛東村大字新井2935
群馬県林業試験場 別館内
TEL 027-386-5901 FAX 027-386-5902

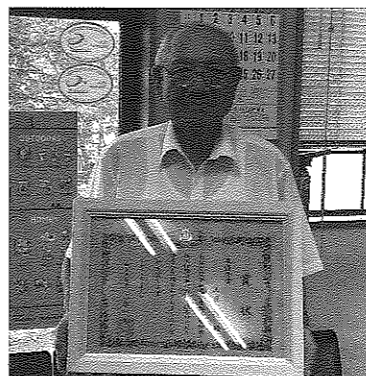
平成三十一年度優良林業経営 推奨行事、間伐コンクール表彰

群馬県林業改良普及協会は、群馬県と共催し「優良林業経営推奨行事」と「間伐コンクール」の表彰を毎年行っています。

「優良林業経営推奨行事」は、森林の適正な管理並びに林業の技術、経営の改善に努め、森林の有する多面的機能の発揮及び林業の持続的かつ健全な発展に寄与している森林の管理経営体を表彰し、「間伐コンクール」は、間伐の技術の向上、効率的な作業システムの普及を図りながら森林所有者の林業経営意識を喚起するために実施しています。

今回の表彰式は、総会の開催形態が変更になったことから、受賞者へ表彰状・記念品等の発送をもって代えさせていただきます。

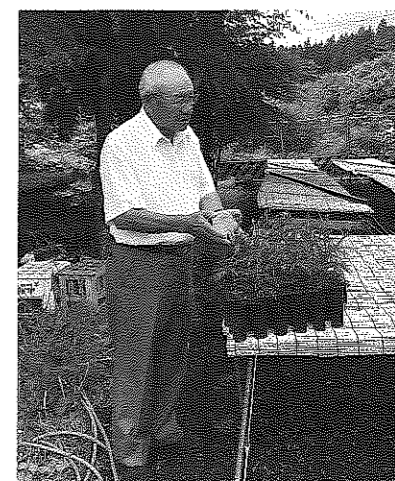
・平成三十一年度林業経営推奨行事入賞者



最優秀賞 (知事賞)
土屋博さん

自家生産したスギの苗木を使い、皆伐・再造林を計画的に行い、自社の経営に積極的に取り組まれている

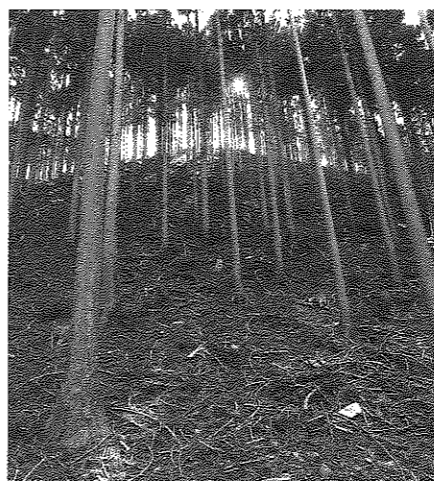
最優秀賞 (知事賞) 土屋 博



土屋さんが自家生産しているスギ花粉対策の苗木

令和元年 間伐コンクール入賞者

| | |
|-------------|----------|
| 最優秀賞 (知事賞) | 下仁田町森林組合 |
| 優秀賞 (森連会長賞) | 吾妻森林組合 |
| 〃 (造林協会長) | 烏川流域森林組合 |
| 優良賞 | 赤城南麓森林組合 |
| 〃 | 神流川森林組合 |
| 〃 | 利根沼田森林組合 |
| 〃 | わたらせ森林組合 |



最優秀(知事)賞
下仁田町森林組合が実施した間伐施業地